

防災、保育など多様な要望次々 浦川原、大潟等で議会報告会

市議会主催の議会報告会・意見交換会がこのほど、浦川原コミュニティプラザなど市内4会場で行われました。

いずれの会場でも議長または副議長、4つの常任委員会の委員長または副委員長が9月議会の報告を行い、参加者からは質問や意見等が出されました。

私は、浦川原と大潟の会場で傍聴しました。両会場の参加者からの質問、意見など主なものを紹介します。

●消火栓のホースなど格納ボックスを町内会で持っているが、更新時期を迎えている。市から補助してもらいたいと要請したが断られた。何とかならないものか。

●柏崎刈羽原発は稼働ありきで進んでいるが廃炉にすべきだ。市議会でもしっかり対応してほしい。

●市内には特別支援が必要な子どもがたくさんいる。上越3市のなかで市立支援学校が無いのは上越市だけだ。旧末広小学校などを使って開校してもらいたい。

●民間保育園への補助制度を充実させてほしい。

●上沼道、安塚から十日町方面への工事は進んでいない。市議、県議などが議員団が力を合わせて早期着工できるようにしてほしい。

●次は大潟会場です。

●大潟区の地図を総合事務所求めたら、20年以上も前のものだった。各区の地図を新しいものにしてもらいたい。

●保育園、放課後児童クラブで、人員不足から入園待ちなどの問題が出ている。議会では人員不足について(一定の)追及がされているが、その後の追跡をしていただきたい。

●昨年度の大雪で海岸一帯の砂防林の被害が出ている。県は10月18日から11月5日までドローン調査を行い、その後、現地調査するとしているが(動きがあまりにも)遅すぎる。県に強く訴えてほしい。

●温浴施設についてはそれぞれの区で思い入れの深い施設がある。議員立法であるべき姿を示し、その上で適正配置の検討をしてもらえないか。

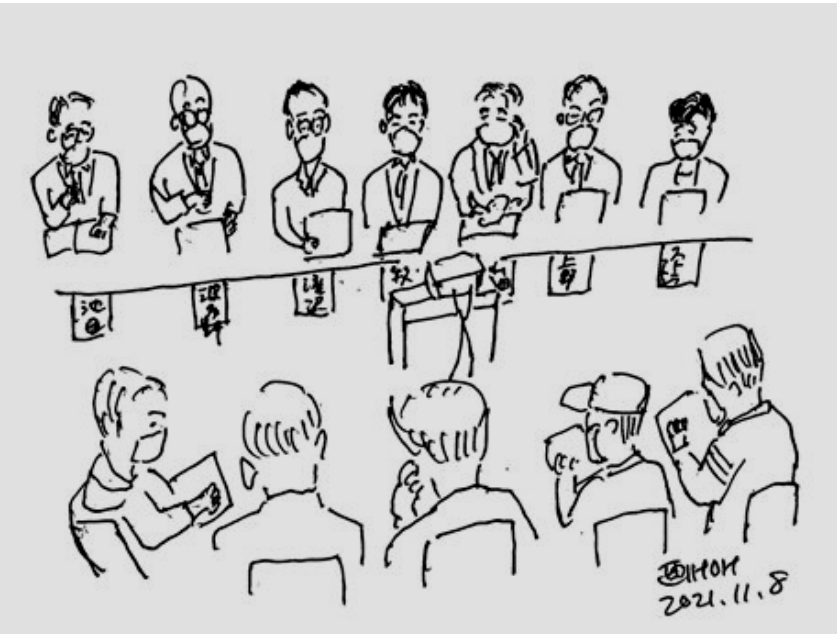
●他県から釣りに来てごみを置いていくケースがある。条例で車1台あたりの500円を徴収できるようにしてほしい。

●上越市議会は議会改革で評価されているが、傍聴者は少ない。市長選で議員が応援団までつくって応援するのは議会改革に反するのではないか。

●議員も地域協議会委員を支援する手立てが必要だと思うがどうか。



【ゲンノショウコ】(再掲)フウロソウ科の多年草。漢字で「験の証拠」と書きます。煎じて飲むと効果はすぐに出ることから、この名前になったとか。下痢や胃腸病に効くと言われていています。花期は7月～10月ですが、まだ咲いています。白い花が多いのですが、これは少しピンク色です。花言葉は「心の強さ」。写真は11月4日、大島区熊田にて撮影しました。



●民間保育園への補助制度を充実させてほしい。

●上沼道、安塚から十日町方面への工事は進んでいない。市議、県議などが議員団が力を合わせて早期着工できるようにしてほしい。

●次は大潟会場です。

●大潟区の地図を総合事務所求めたら、20年以上も前のものだった。各区の地図を新しいものに

●民間保育園への補助制度を充実させてほしい。

●上沼道、安塚から十日町方面への工事は進んでいない。市議、県議などが議員団が力を合わせて早期着工できるようにしてほしい。

●次は大潟会場です。

●大潟区の地図を総合事務所求めたら、20年以上も前のものだった。各区の地図を新しいものに



「あの頃の青春コンサート」で懐かしの名曲を満喫

くびき野フォーク村主催の「あの頃の青春コンサート」が7日、文化会館で行われました。同コンサートは今回で15回目、地域の歌手さんたちの素晴らしい歌声が、懐かしい思い出を呼び戻してくれました。

長年、枕元で聴いていた「卒業写真」。クラブ(グループ名)の平山さんが見事に歌い上げ

てくれました。W・U(同)の「too far away」は懐かしい水越けいこの歌、遠く離れた人への想いが伝わってきます。あんず(同)のお二人が歌った中島みゆきの「時代」もどれだけ聴いたことか。それにしても清水トモ子さんの声量にはびっくりでした。今回も最後は「翼をください」の大合唱でした。楽しかったです。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2036 2021.11.14
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第六八三回

とちやの風

風と言っても強い風ではありません。とても小さな風です。そうですね、ティッシュボックスの一枚の紙をそっと動かすくらいの風です。

今年の三月から私は母の部屋で一緒に寝ています。と言っても、私が布団に入る時間は遅く、早いときで二時頃、遅いときは午前一時、二時のときもある。私が寝るところは母のベッドから一センチと離れた場所です。寝る直前に布団を敷くのですが、その際、母のベッドのそばにあるテーブルの上に、毛布や枕をいったん置いていきます。

風はそのときに起きるようです。先月の下旬、二時頃、母の隣りに布団を敷き始めたときのことです。そっと置いたつもりだったのですが、母が目を見ました。そして言ったのです。

「とちやの風、ふわーっと来るがど。なんかごっつお、持ってきてくんだが」

「とちやの風」というのは言うまでもなく私が毛布などをテーブルの上に置くときに発生させる風のことです。風はちょうど母の顔のところへ流れて行くのです。たいた風ではないはずなのに、すぐわかるというのには眠りが浅いのでしょうか。それにしても、このところ食欲旺盛な母のひと言には笑ってしまいました。

この風のせい、私が布団を敷くとき、母が目を見ることが多く、そのたびに母は私に話しかけてきます。今回はそのいくつかを紹介します。

一つ目はある日の二時五六分でした。これは記録しておきました。布団を敷きかけた段階で母は目を睨みました。

母はむくっと起きて、「ういっか、少し体を起こして言いました。」

「コウセンあればいいと思って……」

「コウセン？」

「うん、青空市場から買ってくれば、砂糖

とちよとお湯、わかせばいいすけ……」

「そうだね、えらい、えらい」

「……」

「はい、寝ないや」

長年、大島区の青空市場へ山菜などを持ち込んでいた母は、そこで何が売られているか、よく頭の中に入れていたのだ。小豆を粉末にしたコウセンや大豆で作るキナコは母の好物でした。

二つ目はある日の午前一時一七分の出来事です。このときはひと眠りした後だったのでしよう、「とちやの風」で目をさました母は、身体を半分くらい起こして言いました。

「いま、どこに来たがかなあ」

「うち」

「ああん」

「うちだよ」

「ほっか」

母はいま、一週間に一度、一晩泊まりのシヨートへ行っています。そこで寝ているのか、自分の家で寝ているのか、わからなくなるのかも知れません。

最後はある日の遅い時間です。時間は記録してなかったのですが、深夜です。眠たくて、すぐ寝たいと思っていたのですが、目を睨みました母が話しかけてきました。

「おれはあと五年で百か」

「なして、あと二年ちよとだよ」

「サカヤ（尾神のYさん宅の屋号）のばちや、百まで生きなつたな」

「そうだよ、なして」

「カステラ一本に饅頭二つ、くんたつたもんだ」

「よく覚えてるねえ」

昨年は三回も緊急入院した母ですが、今年はおかげで病気も落ち着いてきています。何よりもうれしいのは食欲があることです。母の口から百歳という言葉も出てくるようになりました。

吉川区の明善寺でも素敵な作品展

お寺での文化イベントがどんどん広がっていますね。6日、7日と吉川区道下下の明善寺で作品展が開かれました。同寺での作品展は初めてですが、地域の人たちの写真や絵、彫刻など80数点が展示され、賑わいました。

出展者の最高齢は96歳の田村ウタさん、編み物でした。10数年前に亡くなった明善寺前坊守の七宝焼き作品も展示されていました。そして福平の農家の皆さんが農産物も展示されていました。みんなで盛り上げようとしてされているのがよくわかる作品展でした。私もイラストを3点出し、作品展デビューをはたしました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月3日(水)	11月10日(水)
上越南消防署	0.047	0.053
上越北消防署	0.047	0.043
新井消防署	0.053	0.053
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.060	0.070
東頸消防署	0.047	0.050
名立分遣所	0.053	0.060
高士分遣所	0.053	0.057

高田世界館でクラシックギター演奏会

第22回全国日本アマチュアギターコンクールで優勝した山岸協慈さんの演奏会が7日、高田世界館で行われました。

山岸さんは吉川区在住でトマト農家。この日は「恋する乙女のバラード」「11月のある日」など素敵な曲を演奏してくださいました。舞台はモミジ、ススキなどが飾りつけられ、最高でした。

